

令和8年度 第2回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日 時 令和8年7月27日（月）午後6時30分～7時50分（80分）
- 2 場 所 南コミュニティセンター（つくしヶ丘） 中会議室
- 3 出席者 一般出席者 22人
網走市出席者 10人（市長、教育長、
企画総務部長、建設港湾部長、
市民環境部長、観光商工部長、学校教育部長、
学校教育課参事、広報広聴係長、秘書係主事）
町連等出席者 4人（会長、副会長、理事、社会福祉協議会職員）
計 36人
- 4 議事進行 理事
- 5 進行記録
18:30 開会
18:32 市長あいさつ
18:34 町連副会長あいさつ
18:35 テーマ(1)小中学校の適正規模・適正配置の検討について
18:45 テーマ(2)太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について
18:59 テーマ(3)どこバスについて
19:13 その他
19:47 市長あいさつ
19:50 閉会

6 質疑など

【テーマ（１）小中学校の適正規模・適正配置の検討について】

▼参加者	学校再編の義務教育学校２校と小規模特認校１校は決定事項か。
（学校教育部長）	決定事項ではなく市のたたき台であり、これから検討するもの。

【テーマ（２）太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関するガイドラインの策定について】

▼参加者	太陽光施設の撤去について、建物が残ってしまうケースが見受けられる。廃棄費用について法的な拘束力を持たせて残骸が残らないようにすべきと思うがどうか。
（市民環境部長）	廃棄について条例化を目指しており、廃棄費用を定期預金のような形で積み立てをさせ、市が質権を設定することを考えている。 事業終了時に事業者が撤去しない場合は、設定した質権により費用を抑えて市が撤去する。基本的には事業者が自身の資金で撤去することが大原則だが、事業者がいなくなってしまった場合でも、設定した質権により対応できる。
▼参加者	質権は、市がどこまで捕捉できるのか。
（市民環境部長）	積み立てたものは市が丸ごと質権を設定し、市が許可しないと解約ができず、勝手に使うこともできない仕組みとする。
▼参加者	質権は効果として弱い気もする。 きちんと拘束力を持って、いかなる理由があっても必ず弁済させるという主旨を持つことが大事だと思う。
（市民環境部長）	質権は拘束力がある制度であり、事業者が勝手に使うことがないように、あらかじめ廃棄費用を算出、積み立てし、市が質権を設定し管理することで、撤去費用が確保され、終了後の施設が放置されない方法となっている。 釧路市など道内でも同様の制度が出てきており、網走市としても同様に運用していきたい。

▼参加者	山崩れの恐れがあるので、山岳地等の設置場所の環境条件をきちんとしておかなければならないと思う。
(市民環境部長)	条例で、斜面や急傾斜地、土砂流出の恐れがあるところは建てられないよう設定する。 いきなり建てるのではなく、事前に計画段階から市と協議するような仕組みとし、市が建てられないとしたところで、指導や命令に従わない場合は罰則規定も検討し、拘束力や実効性が担保されるよう考えている。

【テーマ（３）どこバスについて】

▼参加者	どこバスは網走バスが行っているもので、市が関わっていると知らなかった。 市に何%か乗車料等の収入が入っているのか？
(観光商工部長)	当初、どこバスは実証運行という形で、市の事業として、網走バスと連携して進めていた。 令和５年度から本格運行として、網走バスが主体となり、市は補助金という形で金銭的な支援をしており、市には収入は入っていない。
▼参加者	宿泊税を使うと説明があったが、それは市が決めたことか？
(観光商工部長)	網走バスと連携し、どこバスを運行しており、観光地エリアについて、実証運行として国の補助金を受けながら運行していたが、今年度から、観光エリアの拡充として宿泊税を活用し、２台増車とエリアを拡大することとした。 観光客が少ない時期は、７台体制になるので、今まで市内で使ってる方は、待ち時間が少し緩和されると思う。
▼参加者	どこバスを利用しているが、通院にタクシーで2,000円かかっていたのが、どこバスだと片道500円くらいで済み、非常に助かっている。 天都山に酒蔵が作られているが、バスが通れば酒蔵で試飲もできるし、観光客のPRもできるので、有効活用できると思う。 どこバスは乗合なので目的地にまっすぐ行かないが、厚生病院に行くのに、錦町の方に降りる等、普段通れないところを通っ

	て紅葉や桜が見れて楽しく感じている。 以前、バス停の増設をお願いしたところ、きちんと対応していただき、非常に助かった。 最後に、前の職場の関係で北海道の役員をやっており、札幌に行き、道内各地域の話をするが、会議の中で網走のどこバスが先進的な取り組みとして話されたので、参考にお伝えした。
(観光商工部長)	酒蔵が完成した際には、近くにどこバスの停留所設置を考えているので、今までどこバスを利用したことがない方もぜひご利用していただければと思う。
【その他】	
▼参加者	5月に町内会でゴミ拾いをしたとき、鱒浦の水産試験場の奥の町内会区域外で不法投棄がかなりあったと聞いた。 市も道路パトロールはしてるようだが、見落としなのか確認ミスなのか、かなりの量のゴミがあったようだ。 奥の事業所に通う方が捨てているとも聞いている。 自分も色々用事があり、市の担当者に連絡しないまま会議に来てしまったが、パトロールの怠慢ではないのか。
(市民環境部長)	パトロールについては、基本的にゴミステーション近辺を行っており、不法投棄もご連絡いただければ状況確認している。 後ほど、地図で場所を確認させていただきたい。
▼参加者	パトロールの役目は回収業者に連絡することでは。自分としては怠慢だと思っている。
(市民環境部長)	道路パトロールとも不法投棄の情報を共有するなど、方法を考えたい。
▼参加者	隣の住宅敷地内から、枝が自分の敷地に出てきており、電線も巻き込んでる状況。 伐採は地権者でないとできないが、枝の剪定ぐらいはできないかと思っており、相談したい。
(市民環境部長)	後で確認させていただきたい。

▼参加者

以前の会議で、市で誰が参加しているかわからないので、資料に参加者名を添えてほしいとお願いした。
去年は名前の記載があったが、今年は記載がなかったので載せてほしい。

南小から降りてくるところで、イタドリが歩道を覆いかぶさっている。

雨が降ると子どもが通れず、車道に出てきており、何年か前まで自分が刈っていたが、最近できなくなったので、写真を添えて市の方をお願いするとすぐ来てくれた。

今年は一度も来ないので、引き継ぎされてないのでは。

草は毎年生えるので、チェックをお願いしたい。

貝殻公園のシラカバが50年経っており、相当の高さになっている。

公園の樹木は3年計画で見直す話を聞いたが、未だ何もされていないのでどうなったのか。

上の方が残ってる木は剪定してもらえるのかと思っていたので、現場を確認し、対応を検討いただきたい。

(建設港湾部長)

歩道に支障がある草木について、タイムリーに対応できていなかった。

いただいた要望について、内部で共有するよう徹底したい。

貝殻公園についても、対応が共有されていないように見受けられるので、戻ってから対応状況を確認する。

(企画総務部長)

資料の氏名記載について、今年はテーマを決めて出席者を決めるのに時間がかかったため、記載ができなかった。

来年以降、市長、副市長、教育長、それから担当部の部長の誰が出席してるか分かるように対応する。

▼参加者

自分の地域で野良猫が増えて大変。

夜に鳴き声で賑やかになり、餌をもらってるのか太っている。

何か対策はできないものか。

(市民環境部長)

野良猫についても相談をいただいております、昨年からは地域猫活動として、去勢費用の補助も行っている。

後ほど場所と詳しい話を聞かせていただきたい。

▼参加者

町内会内に空き家があり、雑草が生え、物も置かれたままで環境が悪い。

	なかなか解決はできないと思うが、行政としてどう対処しているのかお聞きしたい。
(市民環境部長)	市内で空き家が増えており、市としては相談いただいたものに個別に対応してる。 全体的に空き家に対して、こういう対策をしてるということではなく、何かお気づきの点とかがあれば、都度連絡をいただき、相談させていただきたい。
▼参加者	雑草や、汚れていてどうにもならないゴミなど、撤去してもらえるのか。
(市民環境部長)	基本的には地権者の対応になる。 相談があれば、まず所有者を探し「近隣から相談があるので対応してほしい」と通知をしてる現状であり、今の時点では、お願いをしていくしかない。
▼参加者	自分も相談を受けたことがあり、役所に行ったが、1回話させてほしいとなった。 話して解決する問題じゃないかと思い、それ以上は行ってない。 別の話だが、町内会があちこちで解散している。 自分の町内会も高齢化が進んでいる。 実際に町内会がなくなった地区は、行政との接点はどういう位置づけになるのか。 例えば今日の会議の案内は、町内会のない地区にはどのように周知されるのか。
(企画総務部長)	非常に難しい課題だと思う。 市の広報紙は町内会の皆さんに配布していただいているが、この会議は、町連との共催でやっており、個別の案内は組織がないところへ現実的にはできない。 行政としては、個人個人の方に送るものは全ての方に送るが、組織がないところへの情報の伝達手段は1つ足りなくなる。 また、地域の防災力や相談ごとへの対応、地域の活性化も落ち込むので、そこも心配。 コミュニティをこれからどう作っていくかが課題だと思うが、課題を解決するような妙案を見つけられていないのが実態。

▼参加者

市職員が随分退職しているようだが、中堅層の役割のある職員の退職で住民サービス低下が懸念される。

土木、建築、水道等の専門の技術職が退職になった時に、行政サービスはどう維持していくのか。

また、人口が減っていき、高齢化も進む中、職員が減ることを前提としたまちづくりを作り直すのか、お聞かせ願いたい。

(企画総務部長)

網走市役所に限らず、北海道、札幌市役所、民間会社でも中途退職が増えている。

昔のように、1つのところで定年まで勤めるという概念がなくなったことと、傾向的に就職先が決まってから辞職の意向を示す方が多く、特に人口が多い都会に就職が決まってから移り住むパターンが多い。

他にも、元々市内出身でない方も職員におり、親の介護や家業を継ぐために地元に戻るケースもある。

大事なのは、職員が途中で辞めても、デジタル化等を駆使して、行政サービスが低下しないように維持することが必要。

また、育児休業取得者が10名程おり、育児期間の代わりの職員の補充分も含め、多く職員を確保している。

採用試験も以前は、前期後期の2回だったが、今は中途の採用試験を随時やっており、元教員の方で市役所就職を希望するなど、別職種への転職もあり、トータルでは人員を確保している状況。

中途採用やチャレンジしたい方の採用を積極的に進めていくのと、デジタルによる省力化で、時間や労力をかけないようにしていくことが大事だと考えている。

▼参加者

特に住民サービス低下は心配しなくてもいいということか。

(企画総務部長)

そうならないように努めている。

専門職が欠けたとき、何かできないということが生じるかもしれないが、極力そこは小さく、また生じないように努めたいと思う。

▼参加者

今までは、役所に行くともあれこれも全部してくれたので、安心している。

職員が退職されると聞くと、そういうものができなくなってくるということが心配。

(企画総務部長)

なるべくサービス低下のないよう頑張りたいが、世の中変わってきているので、ここまではできないっていうのは今後出てくるかもしれない。

今これが、とは言わないが、コロナ禍の対策も全部末端の市町村で実際にやっており、ここ数年相当のボリュームの仕事はしてきたと思ってる。

この不安がいつまで続くかの懸念は持っており、効率化を持ってサービスを落とさないように頑張りたいと思う。

▼参加者

例えば、今まで10あった行政サービスを、7までしかできなくなり、あと3つは対応できないので市民でやってほしい、となったら、住民にそのことを事前に説明することもあるかと思う。それにより、住民も安心するので、そういう努力をしてほしいと思う。

(企画総務部長)

おっしゃる通りで、そういう状況になる前に市民の皆さんに相談したいと思う。

▼参加者

住んでいる地域が違うので、参加に抵抗があったが、会場に入ってみるととても威圧的に感じた。

学校再編についての質問の切り上げるタイミングが短い。

市役所も市民のために働いてくれていると思うが、たくさん資料があるので、狭くてできなかったのかもしれないが、机を出し資料を置けるようにしてもいいのでは。

また、市職員の育児休暇取得についてはとてもいいことで、そういう環境であるべきだと思った。

▼参加者

南コミセンで、介護予防事業のらくらく健康トレーニングをやっており、ボランティアとして関わっているが、先週、受付時に参加者の1人が具合が悪くなり、倒れてしまった。

現場に看護師経験者の方が2人いたので、すぐ寝かせて様子を見て119番に電話し、救急車の対応となったが、参加者、ボランティアともに高齢者が多く、どうしていいか分からなく不安であった。

今年は涼しいからいいが、暑い日は熱中症も心配なので、緊急時の対策やマニュアルがあった方がいいと思う。

コミセンでも、避難訓練や火災訓練をやっているが、急に倒れた時にどうするかを確認していないので、各コミセンなど、らくらく健康トレーニングをやっている会場それぞれで、どう対応するかを相談していただければ助かる。